

表4—1 昭和63年度 家畜供試計画

研究課題名(略記)	研究担当	畜種	頭数	供試場所	期間	備考
1.永年放牧地の牧養力向上	草地研:伊藤他	肉用牛	全頭	北山放牧地	放牧期間	
2.林内草地の集約的利用	草地研:菅原他	肉用牛	30頭	尚武沢植林地	6, 8, 10月 (各4日)	子付きでもよい
3.野草地の動態と生産	草地研:菅原他	肉用牛	16頭	IBPススキ,大尺	5月-11月	去勢♂,月齢12ヶ月以上16ヶ月以下
4.ススキ野草地の放牧利用	草地研:西脇他	肉用牛	16頭	IBPススキ,大尺	5月-11月	去勢♂(3と同じ)
5.放牧草地におけるKの循環	草地研:鈴木他	緬羊	18頭	21号	5月-11月	去勢♂6, ♀12
6.里山林床植生の放牧利用	草地研:伊藤他	肉用牛	12頭	丸森,長原など	5月-11月	去勢♂
7.耕地内草地の放牧利用	草地研:山崎他	乳牛	全頭	乳牛放牧地	放牧期間	
8.混播草地の窒素固定	草地研:菅原他	乳牛	全頭	18号	放牧期間	
9.緬羊の水晴外分泌機構	形態:星野	緬羊	10頭			去勢♂当才 農学部動物棟解剖室で屠殺 材料採取後,屠体処理場(仙台市営)にて処
10.鹿の放牧試験	生理,農場,草地研	鹿	全頭	向山	通年	去勢♂
11.鹿の消化系機能	生理,農場,草地研	鹿, 緬羊	鹿5頭 羊5頭		5月-7月	去勢♂
12.肉用牛繁殖法の改良	3研:太田	肉用牛	180頭	北山	通年	肉牛繁殖雌牛群(18ヶ月齢以上の雌):100頭 肉用子牛・育成牛群:80頭
13.ブラーマン種とのF1の成長力と産肉性	育種:水間	肥育牛	F1全頭	肥育牛舎	88年4月- 89年3月	昨年10月に下牧したブラーマン種とのF1 (BB, BN, BH)
14.初乳由来免疫グロブリン	衛生:勝野他	乳牛	10頭	第1牛舎		出生後6時間以内で初乳未給与の子牛
15.初乳のタンパク質	利用:伊藤	乳牛	5頭		4月-12月	分娩牛よりの初乳
16.反すう動物の比較内分泌	生理	緬羊	16頭		通年	去勢♂, 体重40-50kg
17.初乳の成長因子	生理, 農場	乳牛	10頭			分娩初日および2日目の泌乳牛
18.ピロプラズマ病予防	日獣:藤田他	肉用牛	60頭	北山	通年	子牛および育成牛, 昭和62年秋以降生
19.鹿の飼料の利用性	農場:小田島他	鹿 緬羊	3頭 3頭	第1牛舎 向山	夏と冬 (各時期1ヶ月)	鹿, 緬羊とも去勢♂
20.牛の性行動 牛のはい移植 牛, 羊の生殖ホルモン	繁殖:正木他	牛 羊	22-30頭 数頭	北山	周年	牛:♂2頭, ♀20-30頭 品種および性は特定しない。月齢:性成熟個体
21.黒毛と短角との交雑F <sub>1</sub> 雌牛の子牛生産性など	育種:山岸	短角♀ F1	11頭 45頭	北山	周年	短角:妊娠牛 本研究は長期間(6-7年)にわたる
22.泌乳初期における飼料摂取の遺伝的変異について	育種:篠原	ホルス 対照牛	30頭 5頭	北山	周年	ホルス:導入牛 対照牛:BLV陰性牛(泌乳牛および乾乳牛)
23.牧柵構造	北里大:細川	肉用牛	18頭 1頭	北山 北山	4月-11月 4月-11月	畜種別の子牛・育成・繁殖牛など各3頭 放牧牛群の行動調査